

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし悠学カレッジ推進会議		
開催日時	令和5(2023)年3月15日(水) 午前10時30分から午前11時30分まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ サンライズ 講座室1		
出席者	【委員】 若栗浩二委員、佐野鎮代委員、吉岡俊明委員 佐々木憲夫委員、間澤優子委員 【事務局】 二子石課長、松浦主事、河合主事		
次回開催予定日	令和5(2023)年7月		
問合せ先	教育部生涯学習推進課 河合 電話 0561-34-3111(直通) メール gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・議事録全文</li><li>・議事録要約</li></ul>	要約した理由	
審議経過	「別紙のとおり」		

<p>典礼</p>	<p>只今から令和4年度第2回みよし悠学カレッジ推進会議を開催いたします。始めに礼の交換をお願いしたいと存じます。一同、ご起立ください。一同礼。ご着席ください。</p> <p>それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。</p> <p>始めに、生涯学習推進課長の二子石からあいさつを申し上げます。</p>
<p>生涯学習推進課長</p>	<p>改めましておはようございます。生涯学習推進課長の二子石と申します。本日はご多忙の中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>この会議につきましてはコロナ禍ということで今年度第1回につきましては書面会議ということで開催をさせていただきました。その時にいただいたご意見の中で、コロナの様子見ながら、実際に集まって開催したらどうかというご意見もいただきましたので、本日も集まりをいただいたという次第でございます。</p> <p>生涯学習講座につきましては、令和2年度はコロナ拡大時期でしたので開催の中止とか制限など縮小して開催をさせていただきました。令和3年度からにつきましては、感染対策を徹底した上で開催するというような方針に変えまして、受講生の方が安心して受講できる環境作りに努めまして、講座内容、講座数を少しずつ充実をさせてきたところでございます。</p> <p>政府の方から3月13日より、マスク着用につきまして個人の判断というような見解が出されました。本市としましても講座の受講生の方には基本的には個人の判断という方向でございます。みよし市役所も、テレビとかの報道でもありますとおり基本的には個人の方のご判断におまかせするというところでございます。講座の方につきましては、引き続き検温や消毒等の感染対策を徹底しつつ、受講生の方が安心できるような形で開催をしていきたいと考えております。あと、生涯学習推進計画を、昨年3月に改定をさせていただきました。学び合い、触れ合い、支え合い、人と人が繋がり、生涯学習というテーマに基づきましてこれからも講座の実施に取り組んでいきたいと考えています。特に5年度から、おかよし交流センターでも開催を企画しております。</p>

	<p>本日お集まりいただきました皆様には、4年度の開催状況、5年度の予定計画等につきまして説明をさせていただきますので、ご意見を頂戴できればと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。以上挨拶とさせていただきます。</p>
典礼	<p>本日は藤本委員とそれから加納委員が欠席されておられますが、初めて委員になられました方もいらっしゃると思いますので、若栗委員から順に自己紹介を簡単をお願いいたします。名簿はお手元の資料3の通りでございます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>(個人情報が含まれているため、自己紹介は割愛。)</p>
典礼	<p>それでは次第の3に移ります。資料4の「みよし悠学カレッジ推進会議に関する要綱」をご覧ください。</p> <p>要綱第4条に「推進会議の参加者は、その互選により推進会議を進行する座長を定めることができる。」となっております。どなたか座長をお願いするにあたりご意見ございませんか。</p>
佐々木委員	<p>事務局に一任するということがいかがでしょうか。</p>
典礼	<p>事務局に一任という声をいただきましたので、僭越ながら事務局から案を出させていただきます。</p> <p>座長には、区長会の代表であります若栗委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか</p>
全委員	<p>異議なし</p>
典礼	<p>ありがとうございます。ご異議もないようですので、事務局案のとおりとさせていただきます。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。議事の進行は、座長にお願いすることとしますので、若栗委員に議事の進行をお願いいたします。恐れ入りますが、正面の席へご移動ください。</p>
座長	<p>おはようございます。只今事務局のご推挙を受けて委員各位にご承認いただき座長に就任させていただきました、ひばりが丘行政の若栗と申します。浅学非才の身ではありますが精一杯努めて参りますのでどうぞ皆様の協力を申し上げて、就任のご挨拶とさせていただきます。今日はどうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは早速議事を進めてまいりたいと思いますが、本日用意していただいた議題は2点。令和4年度の事業の開催報告</p>

	<p>と令和5年度の事業の計画概要でしております。早速でありますけれども、議題1つ目の令和4年度事業の開催報告について事務局からご報告をお願いします。</p>
事務局	<p>それではお手元の資料1に基づき、令和4年度生涯学習講座の状況についてご説明させていただきます。</p> <p>資料の左側は、各期ごとと全体の講座数、定員、申込者数及び受講者数の状況です。講座数は春夏講座が48講座、秋冬講座が55講座、新春講座が48講座で合わせて151講座を開催しました。一番下表にありますように7講座が開催中止となったため、講座企画数では、158講座となっています。令和3年度の講座企画数143講座、実施数140講座と比較しますと、企画数では15講座、実施数では11講座の増となっております。</p> <p>表の一番右の受講者数では、全体で1,435人で、令和3年度の1,305人と比較すると130人の増となっております。春夏講座を中止するなどした令和2年度の受講者数538人であったことからみますと、令和4年度は、感染対策を徹底することで受講者に安心して気軽に参加していただける講座を実施できたものと考えています。</p> <p>一番下の表、定員が集まらず中止となった講座ですが、7講座のうち生活創造の秋冬の1講座は講師の体調不良によるもので、生活創造の2講座については、春夏講座で人気があったため開催したところ、応募数が開催数に満たなかったことによるものです。情報通信分野4講座はシニアを対象としたパソコンやワードエクセルの入門講座です。最近の日常生活でのスマホ依存度が高まったこともあり、スマホ操作や安全対策にシニアの関心が高まってきていることが考えられます。パソコン等の入門講座はパソコンを始めるためのきっかけとなる重要な講座と考えますので、講座を工夫するなどし継続していきたいと考えています。</p> <p>次に、資料右側の優先講座等の状況をご覧ください。</p> <p>シニア・身障者優先講座の状況ですが、27講座を開催し233人の方が受講しました。生活創造は、ヨガ、ヒップホップダンスで人気があり応募倍率が2倍を超えるものもありました。情報通信ではパソコン、ワード・エクセルの入門から応用、スマホ操作、</p>

	<p>キャッシュレスなど幅広く講座を企画しております。</p> <p>勤労者優先講座の状況ですが、10講座開催し、107人の方が受講しました。参加しやすいように、土日講座、夜間講座、1日の集中講座を開催しています。土日・夜間講座については、勤労者優先講座の状況と重複する部分が多いため割愛させていただきます。</p> <p>最後に、応募倍率ですが、生活創造に全体的に人気があり、情報通信が7割の講座に定員割れが生じている状況です。生活創造は1回の講座が多く一人で複数参加しやすい反面、情報通信は、10回の講座が多く、応募に慎重にならざるを得ない面もあると考えています。説明は以上のとおりです。よろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございました。それでは質疑に入りたいと思います。意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>特によろしいでしょうか。はいご質問ご意見もないということですので議題1の開催報告については以上とさせていただきますと思います。</p> <p>それでは続きまして議題2の令和5年度事業計画概要について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それではお手元の資料2に基づき令和5年度のみよし悠学カレッジ事業の概要についてご説明させていただきます。</p> <p>冒頭の課長の挨拶にもありましたとおり、昨年3月改定の「第3次みよし市生涯学習推進基本計画」の基本理念である『学びあい ふれあい 支えあい 人と人がつながる 生涯学習』に基づき、講座開催に取り組みます。</p> <p>1基本方針にありますように市民のニーズに応えた講座を開催するにあたっては、(1)のとおり引き続き「公開」「生活創造」「国際理解」「情報・通信」の各分野で実施します。また、(2)(3)のとおり生涯学習になじみのない人でも気軽に参加できるよう入門から初級、中級、応用など習経験に応じた講座内容を企画します。(3)(4)のとおり各種優先講座の開催、社会の変化に合わせた講座の企画に取り組むとともに、ホームページや広報みよしを活用した広報に努めます。(6)のとおり子育て中の方が講座に参加できる環境を整えるため、託児の充実に努めます。</p>

	<p>2 講座開催事業につきましては、現在受講生の募集を行っております春夏講座の内容を中心に記載しております。課長のあいさつにもありましたとおり、この春夏講座から学びを深め、交流する機会の充実を図る一環として、おかよし交流センターでも講座を実施することとしました。愛知教育大学との連携公開講座 2 講座、生活創造で、文化協会と連携し「囲碁を覚えてみませんか」と「和紙ちぎり絵初級」を、保健センターと連携し「わくわくからだ探検隊」を、何れも他機関、団体と連携した講座を 5 講座開催します。講座の内容については、以下のとおりですので、ご一読ください。なお、春夏講座については 59 講座となっております。</p> <p>次に 3 の生涯学習サービス事業については、引き続き、「調査研究」「情報提供」「支援」の 3 事業を行っていきます。</p> <p>最後に、4 感染症予防対策についてですが、政府は、5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症を現在の 2 類相当から 5 類に移行すること、3 月 13 日からマスク着用の考え方について個人の判断に委ねることを基本とすることを正式に発表しました。従いまして、講座参加者等に対して必ずしも「マスクの着用」の働きかけを行わないこととしますが、講座の運営に当たっては、引き続き、手指の消毒液を設置、定期的に外気を取り入れる換気を実施、教室の使用後、ドアノブや机など共有部分の消毒など感染症予防対策を実施します。なお、感染症が大きく拡大している場合には、一時的に適切なマスクの着用を呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあります。説明は以上のとおりです。よろしくお願ひします。</p>
座長	<p>それでは議題 2 の方の質疑にさせていただきます。</p>
佐々木委員	<p>はい、3 の生涯学習サービス事業で、事務局から簡単にご説明いただきましたが、この調査研究についてももう少し具体的に話を聞かせていただければと思います。先ほど、令和 4 年度の倍率の高い講座、定員割れの講座等の解析の結果はお話いただきましたが、この調査研究で、受講者のニーズ調査、それから新規講座の企画、既存の講座の見直しという 2 つの項目を挙げていただいています。もう少し具体的にどんな取り組みをしていかれるか。</p>

事務局	<p>第一に、講座に参加してくださった方に対するアンケート調査、あと年に2回のサンライブ全体の来館者に対して施設を利用したときの満足度を確認するためのアンケートで、講座に関する満足度5点とかに丸を付けたりと、4点に丸を付けたりと、あとは自由記述欄で、そこでもうちょっとこういう講座が開催して欲しいとかダンスの講座がやりたい、そういう意見をたくさん書いていただくことが多いですが、それを踏まえていい先生や新しい先生の開拓とかをしています。</p>
事務局	<p>講座終了ごとにアンケートをいただいたり、直接、文化協会の方からもアイデアをいただいたりとか、事務室に寄られた方から話を聞いたりもしましたが、一番メインはアンケートを通して皆さんからの声をいただけることが多いです。</p>
佐々木委員	<p>ここに来て経験しておられる方はそういう話ができますが、まずここに来ていただくことでいうと、やっぱり今日区長さんが来てくださっていますけども、それぞれの行政区への発信というのは、広報の話は情報提供にありますけども、行政区を通じてこんな講座をやっています、さらにやりたいものがありますとか、そういうような発信もしていただくと、こんなことをやりたいというお話が出てくるかも知れないと思いますので、ご検討ください。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>
間澤委員	<p>講座に参加してますと、昼間の講座が専業主婦で子供が学校に行っただ後の方や、定年退職後の男性の方が多くて、若い方たちは昼働いている方が多いので、そういう方たちにも参加できるような土日とか、SNSでの発信とか若い方がそういうふうにチェックしてやってらっしゃるので、受講生の方がこんな楽しかったよみたいなそういうのを発信したりとか、そういうの見て若い方が興味を持たれることもあるので、また、せっかく大学とコラボしてやってくださるような楽しそうな内容も、例えば小中学生の子たちに参加してほしいなものも、そんな親の世代が今もうそういう世代なので、そんな何かチェックされてこれ面白そうってされるといいのかなと思います。</p>
事務局	<p>特にお子さん向けには愛知教育大学さんとの連携、こちらの資</p>

	<p>料の地層岩石化石からというようところで8月中の開催をさせていただき予定をしております。併せてそのやや右下にありますおかよし交流センターで、開催講座の3番目のわくわく体探検隊で、こちらも夏休みに健康推進課の方とのコラボ事業ということで、管理栄養士だとかをお呼びして、これも夏休み開催ということで、できるだけお子さんを巻き込みつつ、なおかつ参加しやすい時期にといいことでこちらも考えております。</p> <p>こういったようなことでいろいろなご意見いただきながら、できるだけ皆さんに参加しやすいような時期だと内容で開催していきたいと考えております。</p>
間澤委員	<p>学校で子供たちにはタブレットがありますが、例えば何かやってみたいことあるみたいな感じでね、意見出してもらったりとか、そういうそういうようなことってどうなんでしょうか。</p>
事務局	<p>タブレットでお知らせっていう形ですすね情報収集だとか生涯学習推進課の行事の開催のご案内なんかも、今ちょっとお聞きして、それもいいアイデアだなと思いましたので、また学校教育課の方と調整させていただきます。ちょっとできれば本当に実施した方がいい、良いアイデアをありがとうございます。</p>
佐野委員	<p>市文化協会の方で講座の内容がよくわかっているようでわかってないっていうところは、実は曜日っていう受講者が何月何日何曜日、1週間に出やすい曜日、そういうところをやっぱり皆さん、自分働いてるとかそういうところで決められると思うんですね。興味はあってもこの日は駄目だとかぶつかっちゃうっていう、そういうところで先生方も設定されるとき講座を何月何日にしようっていう、それをするとき迷うんですね。昼がいいとか午後がいいとか、そういうところを受講する方じゃなく講師をする方のことも考えたらもう少し何か皆さんニーズがちょっとわかってくる、土日がいいのかとか、そういうところも含めて、そういうところがいつも頭にあります。だからその辺のところうまく皆様住民の人たちとのふれあいをしたいっていうところが主体なんだけれども、そこが今いち繋がらない部分で受講が何曜日だったら良かったんだけど駄目だって、行きたかったけどっていう、やっぱりそういう選択の方が多いっていうのが耳に入ってて私も</p>

	<p>そういうところでちょっと日時設定とかを迷うことがあります。それからもう一つは、やっぱり若い方が主体のものがとてもニーズに今受けているっていうところをしっかりと見えてるんですけども。文化として残していきたい、短歌俳句、今ちょっとブームになっておりますけれども、地味であるけれども文化的な歴史的なものをうまく浸透して、高齢者になってきたから人数が減るばかりで文化的なものを講座にしたいって人が来るのかそれはわかりませんが、そういう社会情勢になったのかなとも思いつつながら、ちょっと寂しく感じる場所があります。</p> <p>文化協会の方のクラブ活動の方もそういうことを気にしながらいろいろ本当にご迷惑かけるような話をしてやったりやらなかったりやっぱり苦労しているところを私も聞いてるから一概に必ず春夏に1回講座を受けるなんていうことも難しいと思うし、いつもそれは頭にあります。</p>
事務局	<p>個人の方の様々なご自身のライフサイクルの中で、この人は例えば火曜日、この人は水曜日が空いて、そこら辺の調整がちょっと正直今どうしたらいいのかなってというのはちょっと正直思いつかない。この人立てるとこの人はちょっと出れなくなるとかいう部分もあるので、複数講座が同じ内容の方がやる場合は、例えば曜日をずらすだとかというようなことだとか、あと時間的に午前、午後だとか。そういうようないろんなパターンがあるのかなと。</p> <p>一方、複数開催した場合に1講座あたりの定員がですね、満たなくなってしまうのではないかという懸念ですね。そのあたりをどう調整していこうかなというところがちょっとおそらくこれはずっと永遠の課題になるのかなと思いますけれど、アンケートで具体的に本当にこういう講座をいつやってほしいだとか、具体的な形で皆様からのご意見を頂戴の仕方だとか、具体的に探る方法をですね、検討しないといけないと思っているところであります。</p>
事務局	<p>現在毎年やっていただいているものの中で文化協会の短歌会さんに協力していただいて短歌入門ということで、短歌会員の皆さんも新しくみよしの中で短歌の活動をされてる方が年々少なくなるということで、若い方に興味を持ってもらえるように協力できることをやりますよとお願いして、令和3年度から2連続で</p>

	<p>講座をさせていただいて、これからも新しい人に普及したいということで、先生にご活躍いただいていることを報告させていただきます。</p>
座長	<p>座長の立場なので意見や質問がしづらいんですけど、今年度から見直していただいて、生涯学習として市の方で大変廉価に全ての人たちに対して学びの場を提供していただきすごくいいですが、今日の実績報告をいただいたんですけども、みよし市の規模、人口規模で言うと他の市町と比べて申し込み者数と実際の受講者数って多い方なのか、これぐらいのレベルのものなのか、または6万人ちょっとぐらいの町だからこそ生かせるようなやり方なのかどうなのかなってというのがちょっと思っていて、他の市町村と比べても人口規模でいうと参加者数も多いんですよというふうなら、これ以上増やせっても現実的に物理的になかなかそうはいかない。だから参加しやすい環境を整えるとか、今回のおかよしで新たに場所的にこういう選択肢を広げるとこれはとってもいい話だとは思いますが、何かもう少しうまく市民の要望なりとマッチングできるようなやり方があればもっとうまく進めるのかですね。この冊子は行政区に置いておくんですけど、個人市民の間ではここまでは回らないんですよ。広報みよしには簡略化して載るんですけど、こういうのを読むとこんなだったら行ってみたいなって思えるけど、それがなかなか広く市民の皆さんまでに情報が伝わりきらない。でも、現実的にはこれを市民に配るなんて無理な話なんで。</p>
佐々木委員	<p>行政区には置いてくださって何とか児童館とか行政の事務所には置いてあって、ここに来られたら見てくださるんでしょうか。</p>
座長	<p>集会所のところにたまにこうして置いとくんですけど現実的にですねどれだけの区民の方が来て見られるかっていうとそう機会が多くない。</p>
佐々木委員	<p>なかを見ると素晴らしいですね本当にね、よくやっていただいている。</p>
座長	<p>おっしゃる通りですね。ぼくも参加したいなと。ただ時間を見てるとちょっと。</p>
事務局	<p>お手元にちょっと資料を配らせていただいているものが一番</p>

	<p>下に入っとります。緑色のものとは違うんですけどね。これにつきましては全世帯配布しております。</p>
事務局	<p>広報もやっぱりなるべく多くの方にこの講座の内容を知っていただくために、これを1冊配っても、最初に講座があることに目をつけていただいて、講座を詳しく知りたい方には知っていただけるように、先ず広報みよしで講座がありますよと周知して、ホームページで詳しい情報を出させていただくと同時に、広報みよしにはこれを入れさせていただいて、なるべく多くの方に見ていただいて、興味があれば、自治区とかサンライブへ行っていただくと、より詳しい情報で内容を確認させていただいて、講座に応募していただけるように、広報も段階的な形で、やってるところでございます。</p>
間澤委員	<p>ホームページを見るとわかる。全部それが出てくる。私のように楽しみにしてチェックするならいいんですけど、本当に1回も出たことない人はそのホームページで詳しく見ようとまではいかない。</p>
事務局	<p>昨年3年ぶりにサンライブ祭りというイベントをやらせていただいて、今この建物内で行っている行事で、図書業務も含めて、お祭りというような名称で人を集めさせていただいて実際に文化協会さんだとかが行っている講座を、実体験していただくようなイベントをやらさせていただき、お祭りという言葉を使って足を運びやすいようなことをやっております。コロナ下ちょっと2年間やってませんでしたけど、昨年開催をさせていただいて、それも一つのPRになるのかなと思っています。</p>
間澤委員	<p>そういうのをおかよしでもやっていただいて、そのときにこういうのがありますよって言うのがいい。サンライブまで来るのは結構大変なので。</p>
事務局	<p>三好丘地区になるのでみよしの半分の方が三好丘の地区に住んでいると思いますので、あちらでももう少しPRを強化していけたらと思います。</p>
座長	<p>行政区内におかよし交流センターがあるので、なかなかこちらの南の方に出歩く人が難しいお年寄りとか社会的弱者の方がいらっしゃるんで分散してやっていただけるととてもありがたいの</p>

	<p>で。行政区内でもやっぱりもっとPRを上手にできるように工夫もしていきたいと思います。</p>
佐野委員	<p>こちらの方で春夏、文化協会としては市のご了解をいただきまして、大きく文化展っていうのがもう5月にあるんです。秋には文化祭がありまして、あの広報でもよく出るんですけど、やっぱり三好丘から遠いのもあるかと思うんですけど、本当に関わってる方は見に来てやってくださるけれども、こういうものややってるっていうその何がっていうところまで把握されてないもんだと足が遠のいているのかなとも思いますので、もっと知っていただくためにも何か考えなくちゃいけないって文化協会の方の宿題みたいなものもありますけれども、会場に大きなのぼりを立てますけれども、その前から行政から一応こういうのがありますって行くんですけども。おおよしでも本当はそういうところを見ていただきたいけどやっぱり主流がここで発表する所は、カネヨシプレイスになってですから、そういうところでそれはあの文化協会としてもいつも大勢の方が本当に見に来ているだけ講座や展示をやったり、こんな踊りがあったりこんなポップやってるんだよっていう両方の分野で芸能と文化両方でやっていますので、そういうところもよく知っていただいて、そちらの方の行政区でよくPRしていただくと、もっとまた違うかなと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
間澤委員	<p>いただいたのを見て、こういう団体があるっていうのは知らなかったんだって、見てこんないろいろあるんではないかなと思って。講座が終わった後で、例えばヨガなんかでも三好はヨガスタジオがないからっていう話されてる方もいて、でもヨガサークルとかもありますよね。それを知らなくて。</p> <p>講座が終わった後、感想を書くんですけど、そのときににこういう団体がありますよっていうのは何か教えていただいたら、さらに興味がある方はこういうのがあるんだと思って。そちらの方に入られる方もいるんじゃないかなと今思いました。</p>
佐々木委員	<p>この生涯学習講座で2020年に日本画の講座を開いていただいて、日本画をやり始めましてですね今講座に日本画ってのはないんですけども、終わった後クラブ活動で2週間に1回、あちら</p>

	<p>の教室を借りてですね、日本語絵を書いてましたね。そういう意味では、その期に講座がなくても、そういう活動は続けておられるグループがあるということをやっぱり知っていただくそうですね、やりたいという方々いらっしゃると思います。</p>
間澤委員	<p>若い方も何か俳句とか短歌の講座とかイベントとかあったときにこうなりますって言ったら、興味ある方はちょっと聞いてみようかなと思われる方もいるんじゃないですかね。今はブームですし俳句とか短歌。</p>
事務局	<p>講座の最終回でリストを見てもらって、興味が湧いたらそっちに行ってみるというのもいい流れですね。</p>
座長	<p>水彩画とか鉛筆とかこんな簡単にこんな素晴らしいものが作れるんだみたいな。ああいう場面があるので、うまくそれに乗りながらね、活用してっていいなと思いますよね。</p>
佐々木委員	<p>先ほど若栗座長さんがおっしゃられたみよし市規模でどうですかというお話がありましてですね、私も去年の秋に委員をというお話があったときですね、豊田市とか他の自治体と比べてどうでしょうかということで事務局の方にちょっと質問を投げかけたことがありましてですね、その事務局の方からは豊田市に比べてずいぶん講座の数も多く充実した活動のようですとか、そんなお話も聞いたんですけど。</p>
事務局	<p>私は豊田市の住民ですので、こういうような市が全体的に運営しているものは見たことがない。一般的には企業がやってる講座というのはよくチラシで見たりするんですけどそういう意味では、豊田市の人口42万でこの約7倍。算規模で7倍。そういう中でこれだけのことができるのはすごいなということで多分お話をさせていただいたと思います。他の市町村については特に深く調査をしておりませんが、豊田市ではこれほど市が直接こういうふうに関わっているのは私としてはちょっと承知しておりません。近隣の方が逆に言うと東郷町とか日進市の方が講座を受講している方もありますのでそういう意味ではやはりみよし市の方がこういうまとまってですね総合的に講座をやってるんじゃないかなというふうに思います。</p>
佐々木委員	<p>私35年前に豊田市からみよし市に来たんですけども、メグリア</p>

	<p>さんというか、当時は生協さん、カスポなんとか教室とかですね、そういうのがあった記憶があるのと、あと最近では中日文化センター、文化協会ですかね、新聞広告なんかにも入ってきてですね、中日文化センターというような名前だったと思うんですけどもそういうようなものでもいろんな講座が載ってて、豊田市の産業文化センターでしたかね、あそこへでやっておられて行かれる方があるような話を聞いたこともありますのでそういうようなところの講座だとか、運営とかどんなやり方をしておられるみたいなのところも調べてくださるといいのかもしれないなというふうに今思いました。</p>
佐野委員	<p>今の補足になりますけれども文化センターは市の運営ではないかと私は思っています。各それぞれの講師の先生方が名古屋市や遠方の方からきて見えて、そこで募集かけて、誰でもがってというような感覚でやってらっしゃるんじゃないかと私は把握しています。</p>
座長	<p>やっぱりそういう意味でみよし市の特色ある事業の一つということなんでしょうね。残念ながらそのことが市民に浸透しきっていない。そもそも生涯学習課というか専門の課まであって、市が力を入れて文化的・生涯学習を市民へ提供している、魅力の一つとしてもっとそういう角度からの市民へのアピールみたいなものが入ってくるとよりいいのではないですかね。　こういうところへ来てこういうお話をお伺いするとそういうふうにすごいなっていう実感できちゃうんですけどなかなかそういう話が伝わらないのは、いろいろと行政区や区長会の中でもやっぱりこういう話を持ち出して、行政区としてもっと区民にそれぞれでお伝えする努力をすることもしていかなきゃいけないと今思いました。</p> <p>文化協会さんのいろんなチラシやパンフとかいっぱい来て行政区の掲示板にいれるんですけど、一杯きすぎてですね、もう貼るスペースがなくなってっていうぐらい、結構いっぱいいただいているんですけど、もっと掲示板をいっぱい作ってもっといっぱい貼って、告知できるようにしたらいいなと思いつつながらこれなかなか費用もかかる話なんでいつもながら勝手に選定させていただいてますけれどもとても良い文化的活動だと思います。事務局の皆</p>

	<p>様、大変でしょうが、引き続き市民のために頑張っていたきたいと思います。</p>
佐々木委員	<p>みよし市の特色っていうかそういうことでは思うことがございましてね。みよし市は coronbas 市と交流をやってますとですね。ちょうど市長団がお見えになっているのが新聞に載ってたんですけども。そういう意味では私なんか英語の学習講座をとらせていただいていることを考えるとですね、みよし市の特色として、その coronbas 市との交流をですね、何か取り入れてですね、やっぱり英語勉強したいという方の生きた教材でオンラインとか来られたときに話をするとかですね、国際交流で coronbas 市とみよし市の特徴らしい話ですので、活かせるといいなというふうに思います。</p>
座長	<p>ありがとうございますそれでは議題に終了した。そして最後に次第の「5 その他」ですが、事務局から何か報告等ありますか。</p>
事務局	<p>1件ございます。先程ちょっとお話が出ました一番下のカラー刷りの資料をご覧いただきたいと思います。これは3月の1日に新聞折り込みで入れさせていただきました春夏講座のチラシでございます。ここにありますように、左側におかよしという赤いスタンプが押してあるのが表の大学連携2つ、それから裏側に生活創造で3件、計5件、今回から5つおかよしで開催をさせていただきます、またその状況を見ながら続き今後の企画に役立てていきたいと思っております。</p> <p>特に生活創造のおかよしの3つのうちの2つの23と24は文化協会さんのご協力を得て連携という形で企画させていただいたもの、それから一番下のわくわく体探検隊が市の組織で連携をしたもので、こういう連携の形も増やしながらですね、メニュー等の幅も広げていきたいと考えております。26日まで募集をしております。17日ぐらいには応募状況をアップデートしたものをまたホームページに出させていただきますのでそういう状況を見ながら参加していただければと思いますので、またよろしく願いしたいと思います。私の方からは以上です。</p>
座長	<p>以上で予定されていた議題については全て終了したかと思いません。短い時間でありましたけれども1回目が書面開催で今回はコ</p>

	<p>コロナもちょっと落ち着いてきてますので、こうして皆さんにお集まりいただき、様々なご意見を頂戴して充実した推進会議とすることができたのではないと思います。以上で自分のパートの方は終了したいと思いますので、また進行事務局の方にお返ししたいと思います。ご協力ありがとうございます。</p>
生涯学習推進課長	<p>どうもありがとうございました。皆さんから貴重なアイデア頂戴いたしました。実行できるものはできるだけ実行させていただきます。本当に今日は意見をたくさんいただきましてありがとうございました。</p>
典礼	<p>最後に礼の交換をお願いいたします。一同ご起立ください。一同礼。本日はありがとうございました。</p>